



# 広島県支部会報



平成26年4月13日

## 第62号 H26年度広島県支部総会

日時：4月13日13時30分～15時45分  
場所：広島市東区民センター3階大会議室  
主催：日本防災士会広島県支部  
参加者：55人

総会の会議司会は今井副支部長により行われた。



今井副支部長の司会



参加者の様子

### 1. 25年度事業活動報告 (野村事務局長)

防災士会広島県支部及び日本防災士会本部や県内行政主催の催しが昨年から増加して来た。支部会員対象のスキルアップ講座は本部と支部主催で4回、中国地区県支部連絡協議会の設立、広島県及び他県主催事業への参加・支援派遣など5件等あった。今後もこの傾向は続くものと思われる。

我々防災士は知識、技能の向上を図り地域の要請に応える事が必要である。また定例役員会は年4回、臨時役員会は2回を開催した。

### 2. 地区活動報告 (5地区幹事)

#### ①南東部地区 岩崎幹事 (6市2町63名)

- ・南東部地区設立(2009.9.26)から5年、毎年2回～3回の地区会議を開催し、開催地の行政担当課、消防本部、警察署も任意参加出席、地区防災士との情報交換の場として期待されている。
- ・広島県支部役員会の報告、地区内市町の活動報告、情報交換などを行っている。

- ・ 地区内市町での防災行事の支援を行い、南東部地区防災士が5～10人単位で得意分野の展示説明、シミュレーションモデル説明（液状化現象、土砂災害）、注目テーマの講演などを行っている。評判はよく、防災士のレベル向上と経験アップに役立っている。
- ・ 5月11日南東部地区で地区内防災士希望者を対象として救急法研修を実施する。

**②中央地区 越智幹事（市町は広範囲にわたる50名）**

- ・ 地区内には毎年防災訓練を実施している地域もある。
- ・ 広島県支部活動報告の伝達を行って、コミュニケーションを図りながら地域の防災意識の向上、活動の参考に配布説明を行っている。
- ・ 防災士のコミュニケーションを図る機会として年1回懇親会を持ち、情報交換を行う。

**③安佐地区 柳迫幹事（26名）**

- ・ 全員が集まる場がないが広島県支部活動会報を伝達することにより、活動内容の報告に役立てている。また時に懇親会を行っている。
- ・ 専門委員としての活動も行っている。
- ・ NHK「どうかいのう！」に3名が出演し、防災レベルアップと防災活動の勉強に役立っている。

**④西地区 万藤幹事**

- ・ 当地区は独自に防災活動を進めて行きたい。同じ地区の廿日市地区は大変活発である。

**⑥備北地区 今回欠席**

**3. 防災DVD「防災士誕生10年の歩みを振り返る」**

この防災DVDの要点は下記の通りであるが、防災士には有益で参考になる；

- ・ 1995年1月7日午前5時46分発生した阪神淡路地震は6,343人の犠牲者を奪い、経済損失は約10兆円に及び日本の防災制度の見直しをもたらした。
- ・ その結果、日本防災士制度が確立され、10年を経過した現在26年3月末登録資格者は77千人を超えている。東日本大震災では防災士会は11回被災地の支援活動に行った。防災士も住民も“助けられる人から助ける人”になることが期待される。
- ・ 防災士活動の目標は“災害に強いまちづくり、国づくり”を目指すこと。
- ・ また地域防災はもとより、学校防災教育、マニュアルの見直し、学生防災士の育成などが期待される。
- ・ 国内だけでなく東南アジア諸国との防災交流は国民の安全に向けて広まっていく。等収録。（防災DVDは放映12分、各地区幹事が所持管理）

**4. 25年度決算報告（支部決算及び地区決算）中嶋会計役員、福中監査役員**

- ・ H25年度日本防災会広島県支部決算書に基づき監査報告がなされ、参加者の承認を得た。

**5. 会則改正・一部役員改選 箱上支部長**

- ・ 県支部の規約第8条第2項に係わる「会費規定」の年会費の規定第二項の変更説明が行われ、参加者の承認を得た。
- ・ なお第四項で県支部年会費は地区別に納入することが出来るとの変更説明があり、参加者の承認を得た。

- ・西地区幹事に変更（万藤秀樹氏から馬杉征三氏へ）提案があり、事情説明の上参加者の承認を得た。

## 6. 26年度事業計画及び予算案

### (1) 年間計画表・取組みについて 箱上支部長

- ・H26年度の広島県支部年間計画表（行事計画及び役員会）が説明された。

### (2) 予算案について 中嶋会計役員

- ・H26年度防災士会広島県支部予算案が説明され、一部修正の上参加者の承認を得た。

## 7. その他情報 箱上支部長

- ・日本防災士会広島県支部は2008年（H20年）10月に設立され、17名だったが現在は1012名になっている。2013年までの5年間で300人増えた。
- ・来年度は「女性防災士制度の設立」が検討される（広島県）
- ・同じく、「学校防災リーダー制度の設立」が検討される（広島県）
- ・国や地方自治体の防災啓発活動（防災訓練、講座等）の支援に防災士県支部の派遣が期待されている。地域住民のスキルアップや訓練制度のレベルアップが求められる。

## 8. 総会終了後、地区別打合せが行われた。

- ・地区ごとにお互いに顔を合わせて話し合い、情報交換を行った。
- ・地区の新年度の行事紹介と支援協力の情報交換。
- ・新年度の年会費の支払い、徴収方法について意見交換した。
- ・その他、県市町との共同防災訓練や講演や展示説明についての意見交換をおこなった。

総会の状況写真：



箱上支部長の報告



地区幹事の活動報告を聞く様子



防災 DVD「防災士誕生百年の歩み」鑑賞

(あしがき):「東日本大震災から3年に、復旧・復興も途上であり、新たな課題も出ている。また次に想定されている「南海トラフ巨大地震」の想定被害の大きさも国や県から示され、住民の防災への意識が高まりつつある。我々防災士は情報交換、相互啓発を高め、地域防災の向上に取り組む適切な機会である。

(広報担当 桑木)